

参考

昭和十四年二月刷成

廣東ニ於ケル電話事業ニ關スル廣東省政府
廣東銀行、中國電氣公司同約定（一九三六年締結）
附 廣東官辦電話ノ經營業ニ關スル日本雜
領事中國電氣公司同交換又書（一九三九年）

REEL No. A-1173

0266

アジア歴史資料センター

廣東電話財政委員會約定

本日即于一九三六年十一月一日第一當事者タル廣東市政府（以下市政府ト稱ス、此市政府ナル語ハ適用シ得ル場合當分ノ開中華民國廣東省廣東市ノ市政府當局及其繼承者ヲ含ム）、第二當事者タル廣東銀行（以下銀行ト稱ス）又ハ其繼承者及第三當事者タル亞米利加合衆國テラウエヤ州ノ法律ニ從ヒ設立セラレ且中華民國廣東省廣東市沙面佛租界ニ事務所ヲ有スル會社中國電話公司（以下會社ト稱ス、此會社ナル語ハ適用シ得ル場合前記會社、其繼承者又ハ繼承人ヲ含ム）トノ間ニ締結セラレタル約定
一九二八年三月十七日市政府ハ會社カ廣東市ニ對シ米貨六千四万六千弗ヲ以テ容量四千回線ノ自動電話系統ヲ供給シ且裝置スルコトニ關シ會社トノ間ニ協定ヲ締結シ、同協定ノ金額ハ既ニ全額支拂済ナルコト

一九二九年八月三十一日市政府ハ廣東省政府ヨリ全備ヲ委任セラレ且天レニ代リ會社トノ間ニ廣東市香港間ニ電話業務ヲ供給スル義務

米貨四十五万五千弗ヲ以テ裝設新市下電話ケーブルヲ供給シ且裝置スルコトニ關シ協定ヲ締結シタルコト

一九三〇年九月二日市政府及香港電話公司ハ前記廣東香港間ケーブルニ於テ電話業務ヲ運用スルコトニ關スル協定ヲ締結シタルコト

一九三一年四月一日市政府ハ會社カ總額米貨三十七万一千弗ヲ以テ廣東市ノ自動電話系統ニ對スル延長線三千回線ヲ供給シ且裝置スルコトニ關シ會社トノ間ニ協定ヲ締結シタルコト

一九三三年四月八日市政府ハ會社カ總額米貨三十三万九千弗ヲ以テ廣東市ノ自動電話系統ニ對シ更ニ延長線三千回線ヲ供給シ且同延長線ハ會社系統ノ發展ニ從ヒ三期ニ分チ裝置ヲ爲スコトニ關シ會社トノ間ニ協定ヲ締結シタルコト

市政府ハ市内電話業務及之ト連絡スル長距離電話業務ヲ改善スル爲メ前記諸協定（以下隨時原協定ト稱ス）ニ改訂ヲ加ヘント希望スルト

右改訂ハ原協定ニ從ヘハ同協定ノ金額カ全部支拂済トナルカ或ハ會社カ同改訂ニ同意スルニ非サレハ之ヲ行フコト能ハサルトコロ會社モ亦同様前記電話業務ノ改善ヲ爲スコトヲ希望スルニ依リ同協定者ハ左記ノ通り且左記條件ノ達前記原協定ヲ改正スルコトニ同意ス

第一條 前記原協定ニ於テ電話系統ノ運用ヲ委託シアリタル三名ノ委員會ノ代リニ財政委員會ト稱スル五名ノ委員會ヲ設立ス、右財政委員會ノ委員ハ廣東市長、廣東電話系統ノ總支配人、首席會計監查役タルヘキ廣東銀行代表者及二名ノ會社代表者即會社支配人及技師長又ハ會社ヨリ指名サレタル者ヨリ成ル、財政委員ハ月々市政局ニ於テ任命シ、銀行及會社ノ被選命者ヲ夫々銀行及會社ノ代表者トシテ承認ス、前記五名ノ財政委員會ハ廣東市電話主管職一以下主管職ト稱ス、及本協定ノ存續期間中廣東香港局長距離電話系統ヲ含ム主管職ノ財産ニ付完全ナル管理權ヲ有ス

第二條 電話主管職總支配人ノ俸給ハ主管職ニ於テ之ヲ支拂フ、會社ハ主管職ヨリ業務ノ補償トシテ月額支拂標準賃一千弗ノ手數額ヲ受領ス、主管職ハ又財政委員及其指名者カ前記以外本協定ノ規定ニ依リシテ生シタル合法的旅費ヲ有シ得、同シテ個人的用務ニ付テハ財政委員又ハ其指名者ニ對シ俸給スハ手數額ヲ支拂フコトナシ、原協定ニ依リ會社ニ支拂フヘキ月額米賃二千弗ノ業務手數額ハ本協定ノ履行セラルル限り之ヲ停止ス

第三條 市長ハ職權上財政委員會ノ會長トシ、一切ノ事務ハ委員ノ多數票ニ依リ同委員會之ヲ決定ス、各委員ハ一票ノ權利ヲ有ス、委員會ハ毎月第一水曜日午前十時主管職ノ一設室ニ於テ會集ヲ開催ス、財政委員二名ノ要求アリタルトキハ特別會議ヲ開催ス、特別會議ニ付テハ一切ノ財政ニ關スル事項ヲ決スヘキモノトス、財政委員ハ代理人ヲ以テ投票スルコトヲ得、財政委員ノ特權及業務ハ本協定ニ添付セラレ且本協定ノ一部ヲ形成スル細則ニ依リ之ヲ擴大ス

第四條 廣東香港局長距離電話線ノ收入ヲ含ム廣東電話主管職ノ

一切ノ收入及所傳ハ之ヲ廣東銀行ニ預入ルルモノトス、加シテ同銀行ヨリ指名セラレタル者ニ限り一切ノ支拂ニ該スル領收證ヲ加入者ニ交付スルコトヲ許可セラハルモノトス、右ノ如クシテ預入セラレタル資金ノ一切ノ支拂ハ財政本部會ノ承認セル後ニ從ヒ又ハ同本部會ノ特別權限ニ依リ電話主管職ノ親筆署名ニ依リ署名セラレ首席會計兼査役ノ副署シタル小切手ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第五條 廣東香港同長距離電話線ノ收入ヲ含ム廣東電話主管職ノ一切ノ收入及所傳ハ減價準備金ヲ除キ運用上及會社ノ元利支拂上ニノミ之ヲ使用スルモノトス

第六條 本約定實施ト同時ニ廣東電話主管職ハ本約定ニ添付セラレ且本約定ノ一部ヲ形成スル(山)表ニ於テ第三條「合計」ノ部ニ示サレタル金額ニ該シ本約定ニ添付セラレ且本約定ノ一部ヲ形成スル管式ニ依リ四十八枚ノ月次約束手形ヲ會社ニ發給ス、此手形ハ(山)表ニ記載セラレアル各月ノ末日ニ支拂フヘキモノニシテ右ノ日ニ支拂ハレサルトキハ年七分ノ利率ニ依リ利子ヲ附シ且法律ニ從ヒ

支拂期日ヨリ複利ヲ以テ計算ス、尙運用費ヲ支拂ヒタル上殘存スル主管職ノ剩餘資金ハ財政本部會ノ承認セル後ニ從ヒ支拂期ノ到來セザル手形ニ該スル豫備金トシテ此豫備金カ一冠ノ額ニ達スル迄資金中ニ保留シ置キ六枚ノ約束手形ト等シキ金額ニ於テ維持スルモノトス、此豫備金カ未拂手形ノ未拂殘高ニ等シキ金額トナリタトキハ之ヲ以テ目的的ニ右未拂殘高ノ支拂ニ充テサルモノトス、主管職ハ未拂手形ノ高支拂ニ該シ本約定ニ添付セル(山)表ニ依リ支拂ハルル日ニ於ケル未拂手形ノ未經過利子ニ等シキ割引ヲ受クコトヲ得

第七條 本約定實施ト同時ニ廣東電話主管職ハ一切ノ預金及一切ノ三元現金ヲ廣東銀行ニ引渡シ、銀行ハ夫々十一月三十日、十二月三十一日及一月三十一日ニ會社ニ支拂フヘキ三枚ノ手形ヲ一月三十一日ニ清算スルモノトス

第八條 一切ノ俸給及手當ハ豫算ニ依リ之ヲ定メ且豫算ニ之ヲ明示スヘシ

第九條 年次豫算ハ關係部局ニ於テ作成シ、編入ノ際ニ於テ之カ
摘要ク一覽表ヲ作成シ、之ヲ財政委員會ニ提出シ其承認ヲ得クヘシ、
市政府ハ茲ニ財政委員會ニ提出シ豫算ヲ決定シ且承認ヲ得ヌニ付完
全ナル端占備ヲ附與スルモノナリ

第十條 前記ノ月次支拂ハ前記原協定金額ノ半代額支拂ニ適用ス
即チ原協定ノ金額ハ左記ノ順位ニ依リ全部支拂ヲ爲スコトヲ專ス
一九二九年八月三十一日附協定
一九三一年四月一日附協定
一九三三年四月八日附協定

第十一條 本協定ニ依リ支拂ハルヘキ一切ノ金額カ全部支拂所ト
ナル迄電話主管廳ハ其費用ヲ以テ總例適用電話會社ニ依リ保險ニ
附セラルル財産全部ニ設備又ハ其部分カ使用セラレサル期間中ニ
於ケル收入ノ損失高ヲ加ヘタルモノヲ責任アル保險會社ニ備付ス
附スルコトヲ要ス

第十二條 本協定記載ノ電話財產運用方法カ遵守セラレヌ或ハ本

約定ニ特定セラレタル事項カ履行セラレヌ或ハ本協定ニ依リ發セ
ラレタル約束手形ノ支拂ニ不履行アリ且此不履行カ三十日間繼續
スルトキハ市政府ハ(山)直チニ本協定ニ依リ發セラレタル一切ノ未
拂手形ヲ未経過利子ヲ差引全部支拂フカ或ハ(山)前記原協定ニ記載
セラレタル三名ノ委員會ニ依リ運用セラレハキ財産ヲ直チニ引渡
スヘシ而シテ前記原協定ハ恰モ本協定カ實施セラレザリシ場合ノ
如ク同一ノ效力ヲ有スルモノトス

第十三條 市政府ハ本協定ニ依リ發セラレタル一切ノ未拂約束手
形ヲ未経過利子ヲ差引清算シタル上本協定ヲ解除スルコトヲ得
第十四條 本協定ハ本協定ニ依リ發セラレタル一切ノ約束手形カ
支拂所トナル迄有效ニ存續ス而シテ本協定ニ特定ニ規定セラレタル
モノノ外ハ前記原協定ノ規定ヲ修正シ又ハ廢止スルコトヲ得ス
右證據トシテ兩當事者ハ冒頭ニ掲ケタル日廣東ニ於テ本書ニ署名調
印セシムルモノナリ

廣東銀行	廣東銀行	(署名)
廣安銀行	廣安銀行	(署名)
中國實業公司	中國實業公司	(署名)
中國實業公司	中國實業公司	(署名)
右立會	右立會	(署名)
右立會	右立會	(署名)
右立會	右立會	(署名)
右立會	右立會	(署名)

(A) 表

元利ニ對スル月次支拂

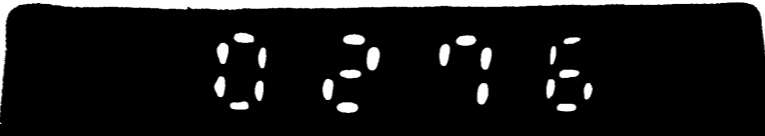
年 月	元金 (米貨)	利子 (米貨)	合計 (米貨)
一九三六年十一月	一五六五五・二二	三三四四・七八	二〇〇〇〇・〇〇
十二月	一五七五九・五九	三二四〇・四一	二〇〇〇〇・〇〇
一九三七年 一月	一五八六六・六五	三一三五・三四	二〇〇〇〇・〇〇
二月	一五九七〇・四二	三〇二九・五八	二〇〇〇〇・〇〇
三月	一六〇七六・八九	二九二二・三一	二〇〇〇〇・〇〇
四月	一六一八四・〇六	二八一五・九四	二〇〇〇〇・〇〇
五月	一六二九一・九六	二七〇八・〇四	二〇〇〇〇・〇〇
六月	一六四〇〇・五七	二五九九・四三	二〇〇〇〇・〇〇
七月	一六五〇九・九一	二四九〇・〇九	二〇〇〇〇・〇〇

年 月	元金 (米貨)	利子 (米貨)	合計 (米貨)
一九三七年 八月	一五九四八・〇〇	二四〇五・二〇	二〇〇〇〇・〇〇
九月	一六〇四一・〇三	二二九五・八九	二〇〇〇〇・〇〇
十月	一六一三四・六〇	二一八六・四〇	二〇〇〇〇・〇〇
十一月	一六二二八・七二	二一〇七・二八	二〇〇〇〇・〇〇
十二月	一六三二三・三九	二〇六〇・六一	二〇〇〇〇・〇〇
一九三八年 一月	一六四一八・六一	一九八一・三九	二〇〇〇〇・〇〇
二月	一六五一四・三八	一八八五・六二	二〇〇〇〇・〇〇
三月	一六六一〇・七二	一七八九・二九	二〇〇〇〇・〇〇
四月	一六七〇七・六一	一七九二・三九	二〇〇〇〇・〇〇
五月	一六八〇五・〇〇	一七〇四・九三	二〇〇〇〇・〇〇
六月	一六九〇三・一〇	一六一九・九〇	二〇〇〇〇・〇〇
七月	一七〇〇一・二〇	一五九八・三〇	二〇〇〇〇・〇〇

一九三九年												
八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月
一七二〇〇・八八	一七二〇〇・六三	一七三〇〇・九〇	一七四〇〇・八九	一七五〇〇・三四〇	一七六〇〇・五六一	一七七〇〇・八二一	一七八〇〇・一五〇	一七九〇〇・一五四〇	一八〇〇〇・一九九一	一八一〇〇・二五〇三	一八二〇〇・三〇七六	一八三〇〇・三七一一
二八八九九・二二	二九〇九九・三〇	二九一九九・〇三	三〇〇九九・八一	三〇一九九・六〇	三一〇九九・四九	三一一九九・七九	三二〇九九・五〇	三二一九九・六〇	三三〇九九・九〇	三三一九九・九〇	三四〇九九・九〇	三四一九九・九〇
二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇

一九四〇年													
七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	
一九四〇〇・〇〇	一九五〇〇・〇〇	一九六〇〇・〇〇	一九七〇〇・〇〇	一九八〇〇・〇〇	一九九〇〇・〇〇	二〇〇〇〇・〇〇	二〇一〇〇・〇〇	二〇二〇〇・〇〇	二〇三〇〇・〇〇	二〇四〇〇・〇〇	二〇五〇〇・〇〇	二〇六〇〇・〇〇	二〇七〇〇・〇〇
二五五五五・三三	二六六六六・〇〇	二七七八八・〇〇	二八九九九・〇〇	三〇一〇一・〇〇	三〇二一二・〇〇	三〇三二三・〇〇	三〇四三四・〇〇	三〇五四五・〇〇	三〇六五六・〇〇	三〇七六七・〇〇	三〇八七八・〇〇	三〇九九九・〇〇	三一〇一〇・〇〇
二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇	二〇〇〇・〇〇〇

合 計	八月		
	十月	九月	八月
八三九三四〇・六九	一九六六二七〇	一九七〇四〇〇	一九六六二七〇
一一九一四八・六三	一一〇二二三	一一二二六〇	三三三・三〇
九五八四八九・三二	一八四八九三二	三〇〇〇〇・〇〇	二〇〇〇〇・〇〇



約束手形

一金 二万弗（米貨）也
一九三六年十一月三十日ニ於テ米貨二万弗也ヲ廣東市廣東銀行ニ於
テ中國電氣公司又ハ指圖人ニ無條件ニテ支拂フコト約束ス前記ノ支
拂ニ遲延アルトキハ右金額ノ正當支拂日ヨリ同金額ノ支拂ハルル迄
年七分ノ利率ニ依リ前記金額ニ對シ利子ヲ支拂ヒ且法律ニ從ヒ利
ノ計算ヲ爲スモノトス

一九三六年十一月一日於廣東

廣東市政府

廣東市政府電話主管廳財政委員會編則

- 一、本委員會長ハ一切ノ會議ヲ司會ス、會長ハ各職員及部局ガ其任務ヲ迅速且能率的ニ行フヤ合ヤヲ監督シ且一般的ニ會計主管廳ヲ管轄ス、會長ハ決算ヲ作成スルコト及支拂ヲ爲ス以テ之ヲ承認スルコトヲ要求ス
- 二、總支配人ハ電話系統ノ一切ノ運用ヲ管轄ス、總支配人ハ專力ニ業務ヲ一覽表ニ作成ス、總支配人ハ顧問技師及審計會計事務ニ對シ本約定ニ依リ同人等ニ期當テラレタル任務ヲ履行スルニ必要ナル情報ノ得ヘラレタルヤ否ヤヲ監督ス、總支配人ハ電話主管廳ノ費用シ得ルガ分且完全ナル勘定ヲ備ヘテ之ヲ報告ス、總支配人ハ電話主管廳ノ業務的可能性ヲ發展セシムルニ全力ヲ盡スベシ、總支配人ハ財政主管廳ニ對シ隨時期當テラル、コトアルベキ他ノ任務ヲ履行ス
- 三、顧問技師即中國電氣公司技師長又ハ其指命人ハ一切ノ修理事務(電燈及標準)ニ付相談ヲ受クルモノトス、而シテ基礎工事及工事、維持及運用ノ方法ニ付テハ同技師ノ承認ヲ受クルモノトス、同技師ハ又同人

- ノ承認ヲ受クル工率、維持及運用ノ方法ガ重要上ニ於テ遵守セラレ、適當ナル標準ノ業務ガ常ニ公衆ニ供給サレ居ルヤ否ヤ及主管廳ノ設備ガ適當ニ保存セラレ居ルヤ否ヤヲ監督スベシ而シテ同技師ハ財政委員會ガ隨時同人ニ奉託スルコトアルベキ他ノ任務ヲ履行スルモノトス
- 四、首席會計監督役ハ主管廳ノ會計事務ニ對シ總監督ヲ行ヒ、豫算ノ作成ヲ補助シ、一切ノ小切手ニ副署シ、主管廳ヘ一切ノ支拂ニ對シ豫算收書ニ副署シ且之ヲ交付スベシ、同人ハ財政委員會ニ依リ隨時同人ニ割當テラル、コトアルベキ他ノ任務ヲ履行ス
- 五、料金又ハ取附料ノ増更及本細則ニ明記シアラザル其他ノ事項ニ對シ決定ハ財政委員會ノ明確ナル承認ヲ要ス
- 六、各財政委員ニ對シテハ其請求ニ依リ電話主管廳ノ運用及事項ニ對シ分ナル情報ヲ提供スルモノトス
- 七、本細則ハ財政委員會ノ處置ニ依リ隨時之ヲ改正スルコトヲ得

廣東市政府

TSUNG YAH-PU

(署名)

廣東銀行

F. K. LOUR

(署名)

中國銀行

J. E. ROLES

(署名)

右立會人

Z. H. HU

(署名)

J. K. QUOW

(署名)

J. Y. ALIRED

(署名)

9

本日即チ一九三六年十一月一日一方ノ當事者タル廣東市政府以下抵當
備設定者ト稱ス、此抵當備設定者ナル語ハ通用シ得ル場合常分ノ御廣東
市ノ市政當局及其繼承者ヲ含ムト他ノ一方ノ當事者タル亞米利加合衆
國アラウエヤ州ノ法律ニ從ヒ設立セラレタル會社中國電氣公司(以下抵
當備者ト稱ス、此抵當備者ナル語ハ通用シ得ル場合前記會社、其繼承者
又ハ繼承人ヲ含ム)トノ間ニ締結セラレタル約定

一 抵當備者ハ抵當備設定者ニ對シ廣東ニ於ケル電話系統ニ要需且使用
セラル、電話機及設備ヲ賣渡シ、抵當備者ハ抵當備設定者ニ對シ廣
東香港兩市間ニ電話業務ヲ供給スル爲メ鐘表裝荷地下電話ケーブルヲ賣
渡シ且裝荷シ、抵當備者ハ抵當備設定者方隨時行フ買入代金ノ正當支
拂ヲ保證スル抵當物ヲ抵當備者ニ提供スルコトヲ條件トシテ買入代金
ノ分割拂(以下財政的融通ト稱ス)ニ同意シタリ

二 抵當備設定者ハ右ヲ賣渡シ現在又ハ將來抵當備者ニ支拂フベキ一切
ノ金租ノ支拂ノ爲前記財政的融通ノ理由ニ依リ抵當備者ニ對シ抵當
提供スルコトニ同意シタリ

三 依テ約定ヲ締結スルコト左ノ如シ
抵當備者ニ依リ抵當備設定者ニ對シ許可セラレタル一切ノ財政的融
通ヲ考慮シ抵當備設定者ハ財政的融通方抵當備者ニ依リ既ニ與ヘラレ
又ハ將來與ヘラル、條件ニ從ヒ財政的融通ノ元利ヲ抵當備者ニ支拂フ
ベキ時期到來スレバ之等ノ一切ヲ支拂フベキコトヲ抵當備者ニ對シ茲
ニ約束ス、但シ本約定ノ何レノ條項モ前記財政的融通ニ關シ發行サレ
タル約束手形又ハ其他ノ流通證券ノ流通性ヲ毀損スルコトナキモノト
ス

四 抵當備設定者ハ又前記ノ如ク考慮シ左記ノ財產全部ヲ抵當備者ニ許
可シ、契約シ、賣渡シ、引渡シ且引渡スモノナリ、即チ
五 廣東市政府ノ前記電話系統ノ一切ノ財產及資產、鐘表ケーブル、受
取ルベキ勘定、手元現金、銀行預金、一切ノ家具、建具、機械、器具
事務所設備、
右ニ關スル詳細ハ前記電話系統ノ財產目錄、記錄及會計帳簿ニ記載シ
テ

六 本約定ニ記シテハ、目的、爲記財額ノ全額、抵當權者、其得
承者及繼承人ニ歸ス

七 抵當權設定者ハ、抵當權設定者ガ記財額ヲ許可シ、契約シ、譲渡シ、
引渡シ且確認スル正當ナル權利ヲ有スルコト、石ハ何ナル義務ヲ
負フコトナキコト及抵當權設定者ハ何人ヨリ要求アルモ抵當權者ニ對
シ之ヲ保證シ保障スベキコトヲ抵當權者ニ對シ約スルモノナリ

八 抵當權設定者ハ更ニ左ノ地ニ抵當權者ト約定ス

九 抵當權設定者ハ記財額ニ滿額達ナカラシメ、且地在所ニシテラレ
ル建物又ハ記財額所屬ニ使ハル爲本當權存続中譲渡セラル、コト
アルベキ一切ノ建物ヲ譲渡者ノ足スルヤコト本抵當者存続中當
己ノ費用ヲ以テ十分ニ修造ヲ爲スモノトシ

一〇 抵當權設定者ハ現在所有ラレタル又ハ本抵當存続中前記財
產上ニ負擔セラル、コトアルベキ一切ノ建物並ニ抵當權設定者ノ其他
一切ノ財産及資産ニ對シ本抵當存続中當己ノ費用ヲ以テ且抵當權
者ノ利益ノ爲抵當權者ノ承認セハレ得ル會社ニ於テ本當權者ニ滿當ナル

金額ノ火災保險ヲ附シ、此金額ニモアル一切ノ保險ハ正當ニ期限満
リニ支拂ヒ且右保險ノ保費等券及之ニ對シテ保險料納付者ヲ抵當權者
ニ託シ、前記ノ右保險ノ一切ノ保費等券ヲ當權者ニ譲渡スベシ

一一 抵當權設定者ハ本當權者ヨリ要求アリタルトキハ現在所有セラレ
アル一切ノ建物又ハ本當權者存続中前記財產上ニ負擔セラル、コトアル
ベキ一切ノ建物並ニ本當權設定者ノ其他一切ノ財産及資産ニ對シ本當
權者ノ承認セル保費等會社ニ於テ保險料納付者ヲ抵當權者ニ託シ、前記
ノ以テ對面、内劇、暴風、地震等ノ其他ノ災厄ニ關スル保險料納付

此保險料納付スル一、保險料納付正當ニ期限満リニ支拂ヒ、且右保險
料納付者及之ニ對スル保險料納付者ヲ當權者ニ託シ、前記ノ右保險
ノ一切ノ保費等券ヲ抵當權者ニ譲渡スベシ

一二 抵當權設定者ハ本當權存続中當己ノ中絶政府ニ對シ即代、市地
租及一切税金及負債等記帳等ニ對シ支拂フベキ税金、又ハ本當權者
ノ保費セラハ、前記ノ保費等券又ハ前記ノ税金等之ニ對スル保費等
ノ保費等者ニ託スベシ

一三 若シ抵當權設定者ガ本抵當存續中建物ニ毀シ十分ナル修理ヲ行ヒ又ハ前記ノ通り保險ニ附スルコトヲ怠ルカ或ハ拒絶シタルトキ、又ハ地代其他ノ料金ノ支拂ヲ怠リ或ハ拒絶シタルトキハ抵當權者ハ前記ノ方法ニ依リ前記ノ建物ヲ差押シ且之ニ保險ヲ附シ且地代其他ノ料金ヲ支拂フコトヲ得（然レドモ強斷スルニ非ズ）、而シテ右ノ支拂ニ於テ消費セラレタル一切ノ金額ハ抵當權者ノ立替ニ致スル利息ノ利子ト共ニ抵當權者ノ要求ニ依リ抵當權設定者ニ依リ返済セラルベキモノトシテ而シテ返済セラル、迄ハ右金額ハ前記財産ニ致スル追加負擔タルベシ

一四 但シ若シモ抵當權設定者ガ前記ノ如ク抵當權者ヨリ抵當權設定者ニ從來許可セラレアリタル財政的融通ノ全部及將來抵當權者ヨリ抵當權設定者ニ隨時許可セラル、コトアルベキ一切ノ財政的融通ヲ同條條の融通ノ條件ニ從ヒ同條條ニシテ利息（利率決定ナキ場合ハ年八分）ト共ニ支拂ヒタルトキ又若シモ財政的融通又ハ財政的融通ノ元金ノ一部ガ支拂期到達シテ即カモ未拂ナル限り其條件ニ從ヒ之ニシテ利息（利率ノ決定ナケレバ年八分）ヲ支拂ヒタルトキ而シテ本約定記載條

項ノ何レニモ違反ナキトキハ此抵當ハ無効トスルベシ、然ラザレバ無効ニ存續ス

一五 然レドモ抵當權者ヨリ抵當權設定者ニ許可シタル財政的融通ノ元利支拂ニ不履行アル場合、又ハ本約定ノ契約又ハ條件ニ不履行アル場合、或ハ若シ抵當權者ノ意見ニ於テ本約定ニ依リ損害トセラレタル財產ガ實ニ的損害、消耗、損失ノ危険ニ被セルトキハ或ハ若シ抵當權者ノ意見ニ於テ本抵當物ガ前記財産ノ削減、移動又ハ消滅ニ依リ或ハ其他ノ原因ニ依リ損害ヲ受ケ若クハ受ケントスルトキハ或ハ又前記財産ガ裁判所ノ執行ニ依リ差押ヘラル、カ或ハ賣却ノ受取人、受取人、取除人又ハ官吏ノ手ニ歸シタルトキハ、抵當權者及其代理人ハ前記財産ノ差押サレタルトキハ何時ニテモ直チニ其條件ニテ之ヲ所消シ且抵當權者ニ支拂フベキ一切ノ金額ガ支拂向トラル迄抵當權設定者ノ義務ヲ遂行スルノ權利ヲ有スルモノトス

一六 本約定ハ本約定ニ記載セラレタル抵當權者ニ致スル抵當權設定者ノ一切ノ現在及將來ニ於ケル義務ヲ包括スベク前ニ指定セラレタル

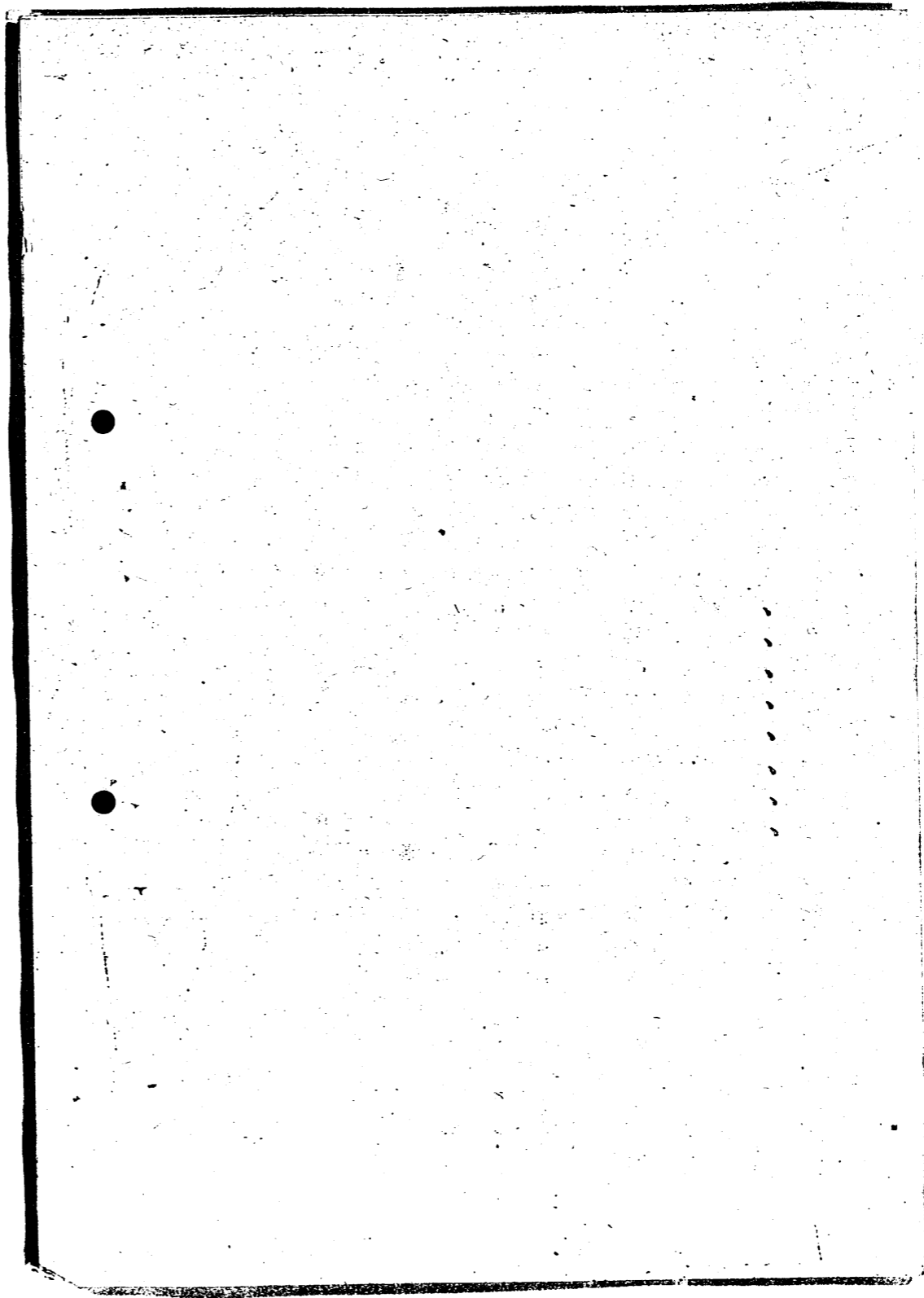
當權設定者ノ財産及資産ニ對スル優先的留置權及管理權ト爲スコトヲ
 意圖スルモノナリ、若シ抵當權設定者ニ於テ何時タリトモ之ニ與ヘラ
 レタル前記一切ノ財政的融通ノ元利ヲ完済シタルトキハ本抵當ノ留置
 權及管理權及本約定ノ一切ノ條件ハ(抵當權設定者ガ抵當權者ニ對シテ
 務ヲ旨ハザル期間中本抵當解除ノ意思ヲ抵當權者ニ通知シ且抵當權者
 ガ本抵當解除ニ付書面ヲ以テ同意スルニ非サレバ)其後抵當權者ヨリ抵
 當權設定者ニ許可スルコトアルベキ一切ノ財政的融通ニ對スル抵當權
 者ヘノ保證トシテ適用スルコトナキモノトス

廣東市政府

中國電氣公司

右立會人





REEL No. A-1173

0284

アジア歴史資料センター

十九百三十七年十二月三

中國實業公司

廣州市

廣州市政府函中

六 啓 陳者一九三六年十一月一日附協定第十二條ニ依リ左ノ通御通知申
上 茲

當會社ハ屬東主管轄ノ財産及事務ノ管理及運用ノ目的ノ爲三名ノ委員會
ヲ復活セシムルコトヲ必要ト認メ茲ニエヌ、エフ、オールマン氏ヲ財
政擔當ノ委員ニ、ジエー、エフ、レトム氏ヲ技術擔當ノ委員ニ指名致候
此指名ヲ貴方ニ於テ御確認成候尙同時ニ一般事務擔當ノ委員ヲ貴方ニ
於テ指名ノ上同委員ノ氏名當方ニ御通知被下候御依頼申上候
當會社ハ前記三名ノ委員會ハ前記ノ日ヨリ電話財産及事務ノ管理及運用

ヲ當會社ノ責任ニ有之候

此三名ノ委員會ハ全力ヲ盡シテ電話財産ノ管理及處置ニ當ルベキハ勿論
ナレドモ同委員會モ當會社モ會社又ハ委員ノ管理ヲ認メタル種類ノ原因
ニ依ル措施又ハ擔當ニ關シテハ貴方自ラコトナキモノト了解致候
當會社自ラ屬東主管轄ノ一切ノ有効ナル義務及協定ヲ承認シ且履行ス
ルモノト了解セラレ候

敬 具

一九三七年十二月二十日

廣東市政府

廣東
中國電氣公司 編中

17
拜啓 讀者一九三七年十二月二十日附貴報詳譯致年祝テハエヌ、エフ、
オールマン氏ヲ財政總務ノ委員ニ、ジエ、エフ、レーム氏ヲ技術總務ノ
委員ニ、指名ノ件承諾致候夫々任命致候一事事務總務ノ委員ノ指名及任
命ニ關シテハ、H. H. H. 氏ヲ指名シ任命致候事直チニ任職ニ關シ報
告アルヤウ委員諸氏へ傳傳へ被下候

敬具

一九三九年一月十一日 廣東

日本領事

中國電氣公司

總支配人 ジェ・エチ・レーム

拜啓陳者日本當局ハ廣東市ニ於ケル貴會社自動電話設備ノ假再興ニ
異存無之經就テハ左記事項完全ニ履行セラレタルトキニ於テ貴方ハ
元廣東市政府ト貴方トノ間ニ於ケル協定條件ニ從ヒ正式ニ營業ヲ開
始セララルモノト小生ハ了解致候

一 一九三八年十一月二十七日附貴輪記號ノ者ノ外一名ヲ日本人
員ヲ會計部ニ使用スルコト、各日本職員ノ俸給及其他ノ條件ニ
付テハ後ニ至リ協定ス

18

二 會社ハ檢閲ノ爲必要ナル設備ヲ取付クルコト、檢閲ハ日本當局
ニ於テ之ヲ行フ

三 日本軍ハ必要ノ場合ハ會社電話系統ノ一部ヲ使用スル權利ヲ留
保ス

加入者ハ電話料及豫納金ヲ日本軍票ヲ以テ支拂フコト自由ナリ
右直票ト支那標準弗トノ間ニ於ケル相場ハ百圓ニ付百三十弗ト
冠ム

敬具

一九三九年一月十一日

廣東沙面佛租界三十一號
中國電氣公司
總支配人 ジェームズ・レイムニ代リ
G. F. McNeill

廣東 日本總領事 殿

拜啓 陳者廣東市ニ於ケル自動電話系統ノ假令ニ
一月十一日附貴書ヲ見、日本當局ハ中國電氣公司ト元來電氣政府ト
ニ於ケル協定ノ條件ニ從ヒ中國電氣公司カ電氣系統ヲ運用スルコト
ニ同意ナキ旨拜承致候

上記ニ依リ中國電氣公司ハ一九三八年十一月廿七日附シム氏ヨリ口
本當局ニ宛テタル書翰記載ノ條件ニ從ヒ電氣系統ヲ假令ニ運用スルモ
ノ下ノ解除候但貴翰記載左記四項カ完全ニ履行セラルコトヲ要ス
一 一九三八年十一月二十七日附貴翰記載ノ者ノ外一々ノ日本人職員
ヲ會計部ニ使用スルコト、各日本職員ノ俸給身其他ノ條件ニ付テ

ハ從ニ至リ協定ス

二 會社ハ會社ノ爲必要ナル設備ヲ取付クルコト、設備ハ日本當局ニ
於テ之ヲ行フ

三 日本軍ハ必要ノ場合ハ會社電話系統ノ一處ヲ專用スル權利ヲ確保
ス

加入者ハ電話料及線金ヲ日本軍費ヲ以テ支拂フコト自由ナリ、
右軍費ト支拂標準弗トノ同ニ於ケル相場ハ百圓ニ付百三十圓トス

四 四百ニ付順次費等申上候

五 貴方ハ會計部ニ一々ノ日本人ヲ雇用スルコト電氣系統ト關ケル
日本人等中人ノ俸給及津給條件ハ從ヒニ協定スルコト同意ナリ
六 貴方ハ一九三八年十一月二十七日附レーム氏ヨリ日本當局宛山崎
第七頁記載ノ條件ニ從ヒ日本當局ノ行フ檢査ニ同意ナル設備ヲ
取付クルコトニ同意ス

(三) 萬方ハ此際諸ハ電話系統ノ外部線設備ニ關スルモノト了解ス、

此了解ノ下ニ營万ハ日本軍カ必要ノ場合電話系統ノ一部ヲ使用
スルコトニ同意ス

(四)

常万ハ加入者カ國申請ノ相場ニ依リ日本軍崇ヲ以テ電話料及機
械金ヲ支拂フコトヲ得ルコトニ同意ス、但シ常万ハ承認セラレ
タル商業取引カ行ハルル場合日本軍崇ヲ銀行相場又ハ市場相場
ニアテ學取ル權利ヲ確保ス

貴國ニテ國申請ノ點ニ些少ノ留保ヲ附シタルカ之カ貴方ノ御承認ヲ
得ルヤウ希望致厝
敬具